

2026 年 7 月 27 日

研究に関する情報公開文書

済生会守山市民病院研究倫理審査委員会受付番号：

研究課題：回復期脳卒中患者の上肢麻痺に対する装着型随意運動介助型電気刺激装置の臨床的変化：麻痺重症度に着目した後ろ向き探索的観察研究

研究責任者：西岡拓未（済生会守山市民病院）

1. 研究の対象

2025 年 1 月～2028 年 3 月の間に当院の回復期リハビリテーション病棟に入院され、脳卒中による上肢（手や腕）の麻痺に対して、装着型随意運動介助型電気刺激装置（WIVES 装置）を用いたリハビリテーションを実施された患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

<目的>

WIVES 装置を用いたリハビリテーションを実施された患者さんの臨床データを分析し、手の麻痺重症度によって上肢機能や日常での使いやすさにどのような変化が見られたかを探索・分析します。本研究の成果は、将来のより効果的なリハビリテーションプログラムの立案や今後の研究開発に役立てられます。

<評価の方法>

過去の電子カルテ等の診療記録から必要なデータを集計し、統計的に解析を行います。患者さんに新たなお聞き取りや特別な検査をお願いすることはありません。

<安全面と倫理的配慮>

評価は、通常診療で必要となる評価を行い、それを後方視的に分析するため、患者さんが不利益を被る危険性は極めて少ないと考えています。本研究で利用する資料や情報、記録からは直接ご本人を特定できる個人情報とは削除した上で、学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡をお願いいたします。

<研究期間>

倫理委員会承認日～2029 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

a. 基本情報

年齢、性別、身長、体重、筋量、診断名、障害名、発症後期間など

b. 評価の情報

身体・認知機能、上肢機能、日常生活活動、練習内容、機器の設定や使用状況等、

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 本研究実施に係る利益相反

なし

6. 研究組織

研究機関の名称：済生会守山市民病院

研究機関の長：済生会守山市民病院 病院長 野々村和男

研究責任者：済生会守山市民病院 リハビリテーション技術科 係長 西岡拓未

7. 問い合わせ先

済生会守山市民病院 リハビリテーション技術科

担当者（研究責任者）：係長 西岡 拓未

電話番号：（代表） 077-582-5151

E-mail：soumu@saiseikai-moriyama.jp